



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 黒田精工

コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 黒田 浩史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荻窪 康裕

TEL 044-555-3800

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,444	△16.0	65	△85.5	181	△67.5	△240	—
24年3月期第3四半期	8,866	4.8	455	△20.0	556	△19.7	226	△61.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △250百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 200百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△8.55	—
24年3月期第3四半期	8.07	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	18,867	6,316	32.5	218.31
24年3月期	18,086	6,622	35.7	230.10

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 6,127百万円 24年3月期 6,458百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	2.00	2.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成25年3月期の期末配当予想額につきましては、現時点では「未定」であります。詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	△13.5	60	△89.3	260	△61.6	△240	—	△8.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期連結会計期間より、減価償却の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	28,100,000 株	24年3月期	28,100,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	32,318 株	24年3月期	31,083 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	28,068,121 株	24年3月期3Q	28,069,431 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務問題による新興国への経済影響に加えて、中国の景気減退等による影響から、景気の不透明感が払拭されず厳しい状況となりました。

こうした状況下において、当社グループの経営環境も依然として厳しい状況が続いており、当社グループの主要市場である半導体・液晶市況の設備投資停滞や世界経済減速に伴う海外顧客からの受注減少の影響を受けて、受注高7,616百万円（前年同期比310百万円、3.9%減）、売上高7,444百万円（前年同期比1,421百万円、16.0%減）の結果となりました。

利益面に関しては、コスト抑制等による利益確保に努めたものの、経常利益は181百万円（前年同期比375百万円、67.5%減）、繰延税金資産の回収可能性の見直しによる取崩額118百万円を含めた法人税等調整額203百万円の計上に加えて、持分法適用関連会社のクロダニューマティクス株式会社の株式譲渡に伴う投資有価証券売却損149百万円の影響により四半期純損失は240百万円（前年同期は四半期純利益226百万円）の結果となりました。

なお、11月に買収いたしましたAvingtrans Industrial Products Ltdの企業結合のみなし取得日は、当第3四半期連結会計期間末となっております。このため被取得企業の業績は、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益には含まれておりません。現在、欧州企業の買収に伴うインテグレーションチームを立ち上げ、事業統合を急ピッチで進めております。

セグメントの業績は以下のとおりです。

なお、下記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

#### ○駆動システム

ボールねじの主要市場である半導体・液晶関連の設備投資は依然として停滞しており、韓国向け大型半導体設備延期等による投資減少の影響を受け、受注高・売上高ともに減少いたしました。

当セグメントの受注高は2,558百万円（前年同期比348百万円、12.0%減）、売上高2,730百万円（前年同期比1,000百万円、26.8%減）、営業利益41百万円（前年同期比399百万円、90.5%減）の結果となりました。

#### ○金型システム

当セグメントの受注高は2,189百万円（前年同期比15百万円、0.7%増）、売上高2,070百万円（前年同期比25百万円、1.3%増）と、車載モーター用金型や携帯用振動モーターコアを中心に受注・売上ともに堅調に推移した結果、営業利益1百万円（前年同期は営業損失110百万円）とわずかながら黒字を確保する結果となりました。

#### ○機工・計測システム

ゲージ及び連結子会社であるクロダインターナショナル株式会社での受注が堅調に推移したものの、半導体や液晶パネル需要の冷え込みにより超精密表面形状測定装置（当社商品名：ナノメトロ）の受注が減少した結果として、受注高2,897百万円（前年同期比18百万円、0.7%減）となりました。

売上高に関しては超精密表面形状測定装置の低迷に加え、前年度末で終了したエネ革税制の駆け込み需要の反動から工作機械の売上が減少し2,673百万円（前年同期比489百万円、15.5%減）となり、営業利益34百万円（前年同期比110百万円、76.2%減）の結果となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は18,867百万円となり、前連結会計年度末と比較し780百万円増加しました。これは主に現金及び預金の減少により流動資産が379百万円減少したものの、欧州企業買収により固定資産が1,160百万円増加したことによるものであります。

一方負債合計は12,551百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,087百万円増加しました。これは主に、長期借入金の減少により固定負債が749百万円減少したものの、買収資金として調達した短期借入金の増加により流動負債が1,837百万円増加したことによるものであります。

また当第3四半期連結会計期間末の純資産は6,316百万円となり、前連結会計年度末と比較し306百万円の減少となりました。これは主に株主資本296百万円の減少、少数株主持分24百万円の増加と、その他有価証券評価差額金の減少によりその他の包括利益累計額が34百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主要市場である半導体・液晶関連の設備投資の停滞や世界経済減速に伴う海外顧客からの受注減少等の影響を受けて、受注低迷が前回の予想以上に長引く見通しであります。これにより、通期売上予想を下方修正いたしました。

加えて、繰延税金資産の回収可能性の見直し等による取崩額203百万円、持分法適用関連会社の株式譲渡による投資有価証券売却損149百万円の計上を加味し、平成24年11月14日に発表した平成25年3月期の業績予想を下方修正いたしました。

なお、当第3四半期連結会計期間に行なった企業買収によるKURODA JENA TEC HOLDINGS LTD.との企業結合は、みなし取得日が当第3四半期連結会計期間末となっているため、被取得企業の業績は当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書には含まれておりません。第4四半期連結会計期間より連結損益に含める前提で、暫定的な数値ではありますが今回業績見通しを算定しております。既存事業の売上高の減少を買収企業の売上高の増加により補いつつ、買収によるシナジー効果の実現にはある程度時間がかかる一方で統合費用の発生等があるため、今期における企業買収による利益面での貢献は限定的と見ております。

詳細につきましては、平成25年2月14日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は次のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間において株式の取得によりAvingtrans Industrial Products Ltd（買収後にKURODA JENA TEC HOLDINGS LTD.に商号変更しております。）及びその子会社3社を連結の範囲に含めております。

（駆動システム）

KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD.（英国）、Jenaer Gewindetechnik GmbH（ドイツ）、Jena-Tec, Inc（米国）

（機工・計測システム）

Jena Rotary Technology Ltd（英国）

当第3四半期連結会計期間においてクロダニューマティクス株式会社は、当社が保有するその全株式を売却したため、持分法適用関連会社ではなくなりました。

（機工・計測システム）

クロダニューマティクス株式会社

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴ない、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,260,408	2,531,633
受取手形及び売掛金	2,595,078	2,513,939
商品及び製品	461,598	649,980
仕掛品	962,413	1,216,813
原材料及び貯蔵品	390,272	557,973
その他	654,727	486,921
貸倒引当金	1,754	14,079
流動資産合計	8,322,743	7,943,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,063,492	2,905,460
土地	3,231,169	3,231,169
その他(純額)	1,289,187	1,685,419
有形固定資産合計	7,583,849	7,822,048
無形固定資産		
のれん	—	1,172,010
その他	114,523	122,015
無形固定資産合計	114,523	1,294,026
投資その他の資産		
投資有価証券	1,405,038	1,075,734
その他	661,766	733,679
貸倒引当金	1,140	1,046
投資その他の資産合計	2,065,664	1,808,367
固定資産合計	9,764,037	10,924,441
資産合計	18,086,781	18,867,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,898,230	2,016,971
短期借入金	3,081,925	4,841,908
未払法人税等	37,100	47,727
賞与引当金	219,825	81,063
その他	642,224	729,010
流動負債合計	5,879,306	7,716,680
固定負債		
長期借入金	2,105,396	1,272,099
退職給付引当金	1,907,160	1,888,761
役員退職慰労引当金	80,881	95,398
環境対策引当金	93,872	93,872
その他	1,397,320	1,484,583
固定負債合計	5,584,631	4,834,716
負債合計	11,463,937	12,551,397
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,875,000	1,875,000
資本剰余金	1,451,395	1,451,395
利益剰余金	1,583,345	1,287,206
自己株式	7,061	7,259
株主資本合計	4,902,679	4,606,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	252,094	209,654
土地再評価差額金	1,413,032	1,413,032
為替換算調整勘定	109,029	101,443
その他の包括利益累計額合計	1,556,097	1,521,243
少数株主持分	164,066	188,642
純資産合計	6,622,843	6,316,227
負債純資産合計	18,086,781	18,867,624

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	8,866,087	7,444,406
売上原価	6,743,403	5,727,548
売上総利益	2,122,683	1,716,857
販売費及び一般管理費	1,667,543	1,650,888
営業利益	455,139	65,969
営業外収益		
持分法による投資利益	62,472	46,560
設備賃貸料	52,065	51,872
受取ロイヤリティー	78,797	68,568
その他	102,490	94,223
営業外収益合計	295,826	261,225
営業外費用		
支払利息	105,914	96,234
その他	88,186	49,726
営業外費用合計	194,100	145,961
経常利益	556,864	181,233
特別利益		
固定資産売却益	135	—
特別利益合計	135	—
特別損失		
固定資産除却損	150	1,507
投資有価証券評価損	11,400	—
投資有価証券売却損	—	149,201
クレーム対策関連費用	20,488	—
特別損失合計	32,039	150,709
税金等調整前四半期純利益	524,961	30,524
法人税、住民税及び事業税	42,739	44,534
法人税等調整額	243,234	203,205
法人税等合計	285,974	247,740
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	238,986	217,216
少数株主利益	12,378	22,785
四半期純利益又は四半期純損失(△)	226,608	240,001

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	238,986	217,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103,671	42,440
土地再評価差額金	98,583	—
為替換算調整勘定	33,721	9,376
持分法適用会社に対する持分相当額	311	—
その他の包括利益合計	38,498	33,064
四半期包括利益	200,488	250,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	194,186	274,855
少数株主に係る四半期包括利益	6,302	24,575

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

## (4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,712,370	2,044,444	3,100,272	8,866,087	—	8,866,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,173	—	62,289	71,463	△71,463	—
計	3,730,544	2,044,444	3,162,562	8,937,550	71,463	8,866,087
セグメント利益又は損失(△)	440,711	110,564	145,077	475,224	20,084	455,139

(注) 1 セグメント利益の調整額△20,084千円は、セグメント間取引消去△9,237千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△10,847千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,719,945	2,070,176	2,654,284	7,444,406	—	7,444,406
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,506	—	19,012	29,518	△29,518	—
計	2,730,451	2,070,176	2,673,297	7,473,925	29,518	7,444,406
セグメント利益	41,702	1,620	34,465	77,788	11,819	65,969

(注) 1 セグメント利益の調整額△11,819千円は、セグメント間取引消去△7,800千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△4,019千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は以下のとおりです。

当第3四半期連結会計期間において、KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD.の株式を取得したことにより、前連結会計年度から「駆動システム」及び「機工・計測システム」セグメントにおいて、セグメントの資産が増加しております。増加額は「駆動システム」1,876,291千円、「機工・計測システム」356,131千円であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「駆動システム」及び「機工・計測システム」セグメントにおいてKURODA JENA TEC HOLDINGS LTD.に係わる企業結合に伴ない、当第3四半期連結累計期間にのれんが発生しております。発生金額は「駆動システム」1,104,980千円、「機工・計測システム」51,536千円であります。なお、のれんの金額は取得原価の配分等が完了していないため、暫定的な金額であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。